



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月9日

上場会社名 ゼット株式会社

上場取引所 東

コード番号 8135 URL <http://zett.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺裕之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 林賢志

TEL 06-6779-1171

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	10,780	6.4	266	6.0	294	5.2	213	22.2
30年3月期第1四半期	10,128	1.5	251	74.0	280	60.6	174	31.1

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 466百万円 (62.3%) 30年3月期第1四半期 287百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	10.88	
30年3月期第1四半期	8.91	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	23,587	9,217	39.1	470.87
30年3月期	21,113	8,828	41.8	451.03

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 9,217百万円 30年3月期 8,828百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		4.00	4.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		0.00		4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 2円00銭 特別配当 2円00銭

31年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 2円00銭 特別配当 2円00銭

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,000	0.4	260	14.0	300	6.2	230	11.3	11.75
通期	40,000	3.0	520	2.6	600	1.9	460	13.3	23.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	20,102,000 株	30年3月期	20,102,000 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	526,847 株	30年3月期	526,846 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	19,575,153 株	30年3月期1Q	19,575,161 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により、緩やかな景気回復基調が続いております。一方、米国政権の保護主義的な通商政策や北朝鮮問題をはじめとする地政学的リスク等から、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、①自社品の強化、②卸ビジネスの進化、③新規商品、新規流通の開拓と新規事業へのチャレンジ、④生産性の向上、⑤人財の活性化・情報システムの整備と高度化・物流機能の強化、⑥グループ内の連携強化を基本方針とし、業績向上に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,780百万円（前年同四半期比6.4%増）、営業利益は266百万円（前年同四半期比6.0%増）、経常利益は294百万円（前年同四半期比5.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は213百万円（前年同四半期比22.2%増）となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

卸売部門は、シウラスポーツ用品(株)からの事業譲受は、計画どおり遂行しております。「外商・スクール」及び「アスレックス」マーケットは、競技ウェアが苦戦したものの、野球・ソフトボール用品、卓球用品、競技シューズが前期から引き続き堅調に推移しました。また、サッカー用品については回復基調であり堅調に推移しました。「ライフスタイル」マーケットは、カジュアルシューズ等のフットウェアにおいて取扱いブランドの増加等により好調に推移し、アウトドア用品は堅調に推移しました。「ボディケア」マーケットは、健康志向の高まりにより堅調に推移しました。

この結果、売上高は10,312百万円(前年同四半期比6.7%増)となりました。

(製造部門)

製造部門は、収益性を意識し、MD力、商品企画、開発力の強化並びに品質向上に努めました。野球・ソフトボール用品は、一般軟式FRP製バット「ブラックキャノンZⅡ」やオーダーグラブをはじめ、ヘルメット・スパイク等のグッズも引き続き堅調に推移しており、原価改善も順調に推移しました。「コンバース」のバスケットボール用品においては、ゲームウェアは、カスタムオーダーで高評価を得て堅調に推移したものの、Tシャツやソックスが低調に推移しました。健康関連用品は、加圧トレーニングとして「カーツ」ウェアは販促活動に努めたものの、低調に推移しました。

この結果、売上高は92百万円（前年同四半期比1.6%増）となりました。

(小売部門)

小売部門は、インターネット販売購入者の増加により、登山用品ECサイト「PREMIUM SHOP」は前期より引き続き堅調に推移しました。一方、店頭での売上が減少したことにより、結果として低調に推移しました。

この結果、売上高は107百万円（前年同四半期比4.1%減）となりました。

(その他部門)

スポーツ施設運営部門は、近隣の競合店との競争激化が続いておりますが、販促活動や新たなプログラムの導入により、前期比横ばいで推移しました。物流部門において、外部受託業務における取扱いを増加させたことにより堅調に推移しました。

この結果、売上高は266百万円（前年同四半期比2.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は18,488百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,166百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1,610百万円、商品及び製品が350百万円増加したことによるものであります。固定資産は5,099百万円となり、前連結会計年度末に比べ307百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が334百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は23,587百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,474百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は12,112百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,007百万円増加いたしました。これは主に電子記録債務が1,994百万円増加したことによるものであります。固定負債は2,257百万円となり、前連結会計年度末に比べ78百万円増加いたしました。これは主に繰延税金負債が101百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は14,369百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,085百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計年度末における純資産合計は9,217百万円となり、前連結会計年度末に比べ388百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が134百万円、その他有価証券評価差額金が231百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は39.1%（前連結会計年度末は41.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年5月14日の「平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,748	5,359
受取手形及び売掛金	8,271	7,706
電子記録債権	698	1,418
商品及び製品	3,321	3,671
仕掛品	43	39
原材料及び貯蔵品	136	146
その他	160	208
貸倒引当金	△58	△62
流動資産合計	16,321	18,488
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,868	2,869
減価償却累計額	△2,104	△2,116
建物及び構築物 (純額)	764	752
土地	1,228	1,228
その他	891	887
減価償却累計額	△774	△786
その他 (純額)	116	101
有形固定資産合計	2,108	2,082
無形固定資産		
その他	78	77
無形固定資産合計	78	77
投資その他の資産		
投資有価証券	1,982	2,316
長期貸付金	24	21
敷金	245	245
その他	420	438
貸倒引当金	△69	△82
投資その他の資産合計	2,604	2,938
固定資産合計	4,791	5,099
資産合計	21,113	23,587

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,621	6,542
電子記録債務	2,187	4,182
短期借入金	200	183
未払法人税等	27	95
未払消費税等	188	91
賞与引当金	207	193
返品調整引当金	49	49
その他	623	773
流動負債合計	10,105	12,112
固定負債		
長期借入金	209	176
繰延税金負債	479	581
退職給付に係る負債	359	363
長期未払金	267	267
その他	863	868
固定負債合計	2,178	2,257
負債合計	12,284	14,369
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,005	1,005
資本剰余金	2,968	2,968
利益剰余金	3,839	3,974
自己株式	△74	△74
株主資本合計	7,739	7,874
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,101	1,332
繰延ヘッジ損益	△14	9
為替換算調整勘定	20	18
退職給付に係る調整累計額	△17	△16
その他の包括利益累計額合計	1,089	1,343
純資産合計	8,828	9,217
負債純資産合計	21,113	23,587

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	10,128	10,780
売上原価	8,087	8,578
売上総利益	2,041	2,201
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	121	120
運賃及び荷造費	180	191
賃借料	60	65
役員報酬及び給料手当	625	670
貸倒引当金繰入額	△0	21
賞与引当金繰入額	114	180
減価償却費	33	31
その他	654	653
販売費及び一般管理費合計	1,789	1,934
営業利益	251	266
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	18	19
受取賃貸料	4	4
業務受託料	9	3
その他	9	10
営業外収益合計	41	38
営業外費用		
支払利息	0	0
売上割引	10	9
その他	2	0
営業外費用合計	13	10
経常利益	280	294
税金等調整前四半期純利益	280	294
法人税、住民税及び事業税	105	81
法人税等合計	105	81
四半期純利益	174	213
親会社株主に帰属する四半期純利益	174	213

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	174	213
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	119	231
繰延ヘッジ損益	△3	23
為替換算調整勘定	△3	△2
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	113	253
四半期包括利益	287	466
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	287	466

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。